

基礎医科学演習

責任者・コーディネーター	細胞生物学分野 齋野 朝幸 教授		
担当講座・学科(分野)	人体発生学分野、分子医化学分野、統合生理学分野、感染症学・免疫学分野、機能病態学分野、病理診断学講座、医学教育学講座、超高磁場MRI診断・病態研究部門		
担当教員	人見 次郎 教授、古山 和道 教授、久保田 美子 准教授、久保川 学 教授、木村 眞吾 准教授、中村 一芳 講師、吉野 直人 特任准教授、一ノ渡 学 特任講師、木原 美和 准教授、増田 友之 教授、佐藤 孝 准教授、菅井 有 教授、佐藤 洋一 教授、佐々木 真理 教授		
対象学年	2	区分・時間数	演習 33.0 時間
期間	後期		22 コマ

・学習方針（講義概要等）

適切な診断・治療の実践には、個々の患者の病態生理に関する十分な理解が必要である。そのためには広範な基礎医学・生命科学の知識とこれらを統合する能力が要求される。本演習では、2学年で学んだ基礎医科学（基礎医学・生命科学）の知識を個々の理解度（習熟度）に応じた学習方略で整理し、これらの知識が臨床医学の現場でどのように役立つのか演習形式で学ぶ。

・一般目標（GIO）

CBT (Computer-based Testing) 試験では、医学教育モデル・コアカリキュラムに示されている到達目標（SBO）に沿った内容の問題が、多肢選択試験（MCQ：Multiple Choice Question）形式で出題される。この授業は CBT 試験に向けて2学年で学んだ各教科におけるポイントをしっかりと理解し、出題の形式に慣れることと各科最低限の知識の確認を目的とする。

・到達目標（SBO）

個々の行動目標は授業担当者毎に授業の開始時に提示される。
以下、基礎医科学演習として行動目標の概要を示す。

- 1)演習問題の作問意図を指摘できる。
- 2)演習問題の関連知識を説明できる。
- 3)正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 102 1-B 講義室
 (矢) 西 202 2-A 実習室 (法医公衆)

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/16	火	1	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	興奮性細胞の性質やシナプスの機能および運動機能に関連した演習問題について解答・解説。
9/17	水	1	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	今までの組織学・発生学の講義に関連した CBT の問題を演習形式で解答してもらいます。また、同時に解説を行います。
9/24	水	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	解剖学(マクロ)・発生学に関する CBT 問題について演習・解説。
9/30	火	1	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	感覚機能や自律機能・本能行動および高次神経機能に関連した演習問題について解答・解説。
10/1	水	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授	解剖学・発生学に関する CBT 問題について演習・解説。
10/7	火	1	統合生理学分野	久保川 学 教授	循環器生理学(心臓)、消化器生理学に関連した演習問題の解答と解説。
10/8	水	1	分子医化学分野	古山 和道 教授	生化学・分子生物学の講義内容に関連した CBT 問題を用いた演習。
10/14	火	1	統合生理学分野	中村 一芳 講師	血液生理学、循環器生理学(血流・血圧)に関連した演習問題の解答と解説。
10/15	水	1	分子医化学分野	久保田 美子 准教授	生化学・分子生物学に関連した演習問題の解答と解説。
10/21	火	1	統合生理学分野	久保川 学 教授	腎生理学と細胞・体液生理学に関連した演習問題の解答と解説。
10/22	水	1	感染症学・免疫学分野	吉野 直人 特任准教授	免疫学・感染防御等に関連した演習問題の解答と解説。 1M 感染制御学：免疫学 2～免疫学 6

10/28	火	1	分子医化学分野	古山 和道 教授	生化学・分子生物学の講義内容に関連した CBT 問題を用いた演習。
10/29	水	1	感染症学・免疫学分野	吉野 直人 特任准教授	免疫学・感染防御等に関連した演習問題の解答と解説。 2M 免疫学・基礎感染症学：化学療法 1～化学療法 3、免疫学 1～免疫学 2
11/4	火	1	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	今までの神経解剖学の講義に関連した CBT の問題を演習形式で解答してもらいます。また、同時に解説を行います。
11/5	水	1	感染症学・免疫学分野	一ノ渡 学 特任講師	感染微生物学で取り扱った細菌に関連した演習問題の解答と解説。
11/11	火	1	分子医化学分野	久保田 美子 准教授	生化学・分子生物学に関連した演習問題の解答と解説。
11/12	水	1	感染症学・免疫学分野	一ノ渡 学 特任講師	感染微生物学で取り扱ったウイルスに関連した演習問題の解答と解説。
11/18	火	1	機能病態学分野	増田 友之 教授	病理学に関連した演習問題の解答と解説。
11/25	火	1	病理診断学講座	菅井 有 教授	病理学に関連した演習問題の解答と解説。
12/2	火	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	解剖学（マクロ）・発生学に関する CBT 問題について演習・解説。
12/9	火	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	解剖学（マクロ）・発生学に関する CBT 問題について演習・解説。
12/12	金	2	機能病態学分野	佐藤 孝 准教授	病理学に関連した演習問題の解答と解説。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準組織学 各論 4 版	藤田恒夫、藤田尚男 著	医学書院	2010
教	解剖学講義（改訂第 3 版）	伊藤 隆	南山堂	2012

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ラングマン人体発生学 10版	T. W. Sadler 著、安田峯生 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2010

・成績評価方法

統合型試験を MCQ 形式で行う。

・特記事項・その他

この授業はあくまでも講義を行うのではなく、問題の演習に主眼を置く。
講義の詳細については Web class 参照のこと。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	PC 画面投影装置	2	問題演習・解説
講義	ノートパソコン	2	問題演習・解説
実習	クリッカー	130	問題演習

フォームの終わり